

令和8年度 児童朝会 講話

■令和8年 6月8日 No.34 「助詞1」

さて久しぶりの児童朝会ですが、よろしくお願
いします。まずはいつものように、「いいとこさが
し」からです。今回もたくさんのいいところを見
かけることができました。まずは授業中、みんな
よくつながっています。「学ぶことはつながること」
「つながることが学ぶこと」でしたよね。1年
生もどんどんつながって学べるようになっていま
す。また、2人の間の距離もどんどん近くなっ
てきました。よく学び合えています。運動会の練習
でも、そして本番でもよくつながっていましたね。
テーマの「誰もが輝く最高の運動会」になってい
たかと思えます。

ぱっくん清掃もがんばっていましたよね。みん
なの目が行き届きにくいところや、汚れやすい洗
面周りなども、ピカピカにふきそうじをがんばっ
ている児童が、とても印象に残りました。よくが
んばっていますね。

さて、今日からは「助詞」というものを考えてい
きたいと思います。まずは校長先生が今からある
曲をピアノで弾きます。なんという曲かあててく
ださいね。

いかがでしたか？なんか変な感じがしますね。
少し周りの人と聴き合ってみてください。何とい
う曲かわかりましたか？そう「チューリップ」で
すね。1年生でしたが、よくわかりました。なぜわ
かりにくかったかわかりますか？そう「ミ」の音
が抜けていたのですね。たった1音抜けていただ
けでも音楽はわかりにくくなります。

では次に、この文章をみてください。

むかし むかし、あるところにおじいさんと
おばあさんがました。
おじいさは やまへしばかりに、
おばあさんは、かわへせたくに
いきました。

なんというお話しかわかりますか？そう桃太郎で
すね。でもなんか変な感じがします。少し聴き合
ってみてください。

そう、これはいくつもの文字が抜けているので
す。結構抜けているのですが、みんなはすぐに桃
太郎とわかりました。

なぜ、音楽では1音でも抜けるとわかりにくい
のに、文章だと数文字抜けてもわかるのでしょ
うか？これを今週のお題とします。ひらめいたよ
というお友だちは、校長室前のボードに書きにき
てください。

今日も最後まで静かに聞いていただき、ありが
とうございました。